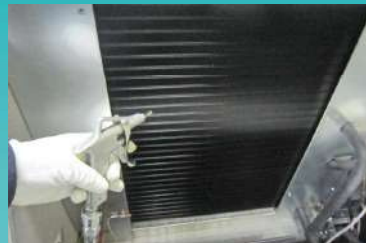


PAP[®]R シリーズ 有料定期点検のご紹介



PAP[®]R シリーズ 定期点検

定期点検のメリット

ランニングコスト低減

定期的な清掃・整備でランニングコストの低減につながります

凝縮器・水回路の定期的な清掃・整備は汚れによる能力低下、消費電力の増加を抑えます。汚れは冷媒圧力を上昇させ、冷却能力を低下させます。

故障・運転停止による損失の抑制

計測器を使用し運転データから性能解析・故障予測をします

部品個々の性能チェックと運転データを解析し、次回の点検時に必要な予算をお見積り等反映し報告いたします。(消耗部品・保全周期により交換を要する主要部品等を含みご報告) また、緊急を要する場合(点検時に不具合の発見等)は当社認定技術者が修復し、プレジジョンエアプロセッサの安定運転を維持させることで、偶発故障の発生、設備停止の損失を最小限に抑制します。

※製品保証適用除外項目に起因する故障については保証対象外といたします。

保守記録の保管

経験豊富な専任の当社認定技術者が点検し、点検作業報告書をご提出します

点検結果および不具合箇所等のデータを報告書としてご提出いたしますので、保守記録の管理ができます。

定期保証

点検実施後の一定期間は、修理作業費(サービスマン移動費等含む)が無償※

※一般点検：1ヵ月保証(部品代は別途申し受けます)
※製品保証適用除外項目に起因する故障、使用環境(腐食性雰囲気)に起因するガス漏れは保証対象外とします。

有料定期点検

点検推奨時間 **8000 時間又は 1 年**

作業時間の目安 **3 時間～ 5 時間**

※対象機種は PAP-R(プレジジョンエアプロセッサ R 型) に限ります。

STEP1

予防保全

STEP2

性能の安定

STEP3

保全記録

1

予防保全 … 清掃・整備



①設置状況の確認



②熱交換器の清掃



③加湿機の確認

2⁻¹

性能の安定 … 各部点検



①絶縁抵抗測定



②インバータ静電容量測定



③ガス漏れ調査



④電流値測定



⑤冷媒圧力測定



⑥冷媒配管温度測定



⑦モータ類の異常音確認



⑧ヒータ、フロート動作確認



⑨風速・温度・湿度測定

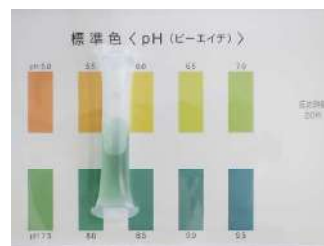
2⁻²

水質検査

水質によるトラブル回避をご提案します。



導電率測定



簡易水質測定 ※

※簡易水質キット 7 種測定内容

- ・ pH 測定
- ・ カルシウム(Ca)
- ・ 塩化物(Cl)
- ・ 化学的酸素消費量(COD)
- ・ シリカ(SiO₂)
- ・ 全硬度(TH)
- ・ 鉄(Fe)

3

保全記録 … 運転診断・水質検査結果の報告



点検作業報告書



水質検査報告

点検作業報告書をご提出致しますので、保全記録として管理できます。

知っ得

知っておきたい

あんな事
こんな事

メンテナンスは結構面倒。
実施していないとこんな状況に…。

	加湿タンク内部に スケールが付着	フロートスイッチに スケールが付着	加湿用ヒータに スケールが付着
症状			
	写真：加湿タンク内に付着したスケール	写真右：フロートスイッチに付着したスケール	写真：加湿用ヒータに付着したスケール
想定される不具合①	加湿機へ水を供給する管径が スケールにより減少	フロートがスケールに より動作不良に	加湿水を加熱する速度が スケールにより鈍化
	↓	↓	↓
	管径の減少で加湿機へ 供給する水量が減少	フロートスイッチが 誤動作	湿度制御の指示が出ても 加湿に時間がかかる
	↓	↓	↓
	湿度制御が不安定に	給水が止まらず漏水	湿度制御が不安定に
想定される不具合②	タンク内のドレン配管の管径 がスケールにより減少	フロートがスケールに より動作不良に	スケールによりヒータに 腐食が発生
	↓	↓	↓
	タンクからの排水 水量が低下	フロートスイッチが 作動せず濁水	腐食が金属部を浸食し 腐食孔が開く
	↓	↓	↓
	タンク内の水抜きに 時間がかかる (最悪は排水不良に)	ヒータの空炊きで 過昇防止作動 (最悪は火災事故に)	腐食孔から水が侵入し 漏電発生

※本機で使用できる加湿水は純水(電気伝導率1~10μS/cm)です。指定以外の水を使用しますと短時間でスケールが付着し、故障の原因になります。

面倒なメンテナンスですが、思っている以上に大事。
定期的に行うことがトラブル回避につながります。

定期点検による安心をお客様へ

3つの安心

をご提供

水質分析
インバータ点検

予防保全

安心

お客様

安心

安心

保全記録

性能の安定

診断結果
報告書

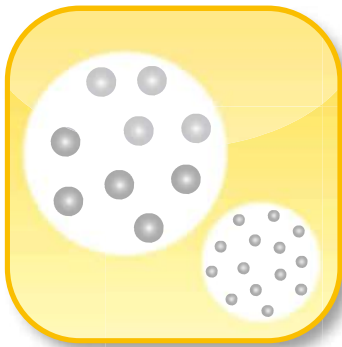
清掃・整備
運転データ測定

プレジジョンエアプロセッサは産業用空調システムとして使用されています。

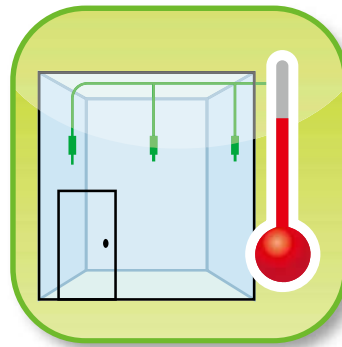
期待する運転を維持するためには、**定期的な点検・整備と部品の交換が不可欠**です。当社認定技術者が、細部にわたり重要ポイントを点検・整備・調整することで、**不具合の早期発見、早期対応が可能**となり、偶発的な故障による生産ライン停止を未然に防ぎ、また無駄なランニングコストの発生を抑えます。

お客様に末長く、安心してお使いいただくため、オリオンプレジジョンエアプロセッサ有料定期点検をぜひご利用ください。

さらにオプション点検項目をご用意しております



クリーン
清浄度測定



クリーンルーム内
温度分布測定

ご用命は下記へー



オリオン機械株式会社

<https://www.orionkikai.co.jp>

当社製品に関するお問合せ・資料請求は

お客様相談センター

✉ sijo@orionkikai.co.jp



☎ 0120-958-076

受付時間 平日 9時～17時

FAX 026-246-6753

CSセンター：札幌・仙台・太田・横浜・諏訪・名古屋・大阪・岡山・福岡

本社・工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246

更埴工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291

千歳工場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16

このカタログ内容は2023年06月現在のものです。

●製品写真は印刷物ですので、実際の色とは若干異なります。

●このカタログ内容の機構および仕様等は、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

☑ No.6810 230601 PDF DG